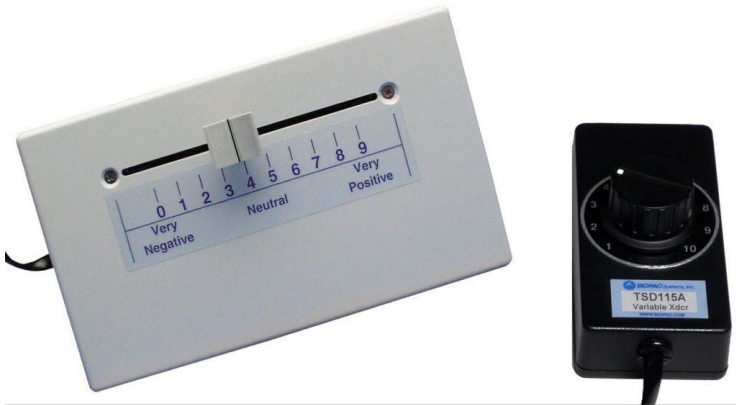
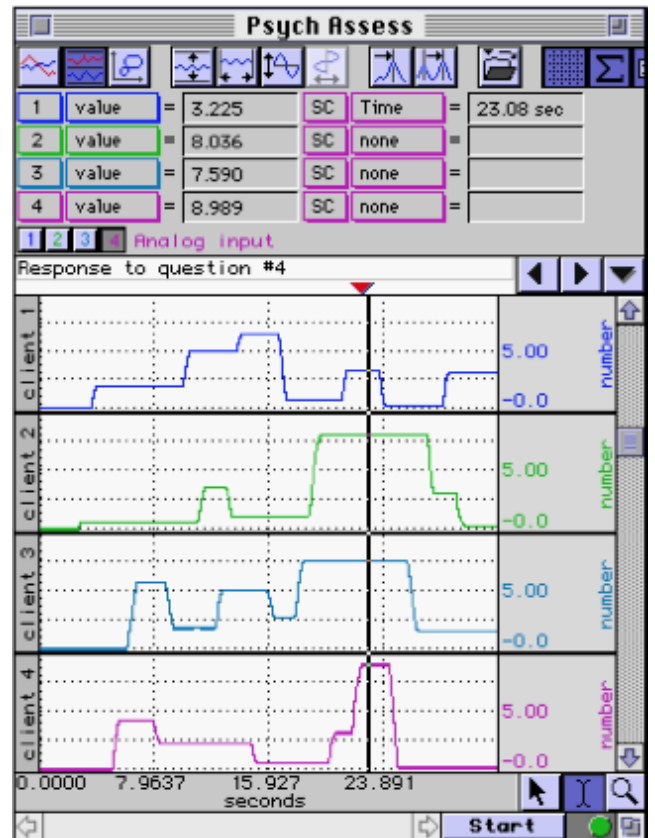


TSD115 連続可変評価トランスデューサ



TSD115 (上図左) は、様々な刺激に対する主観的応答を測定可能にする、目盛り付きスケールのスライドコントローラーです。複数の TSD115 トランスデューサを、複数の人が同時に同じ質問に答える、あるいは刺激に反応するために同時に使用することが可能です。トランスデューサは、軽量で被験者の手や膝に負担なく収まります。TSD115 には 7.6m のケーブルが付いており、HLT100C モジュールに直接接続します。



TSD115A (上図右) はダイヤルを回転させる事で被験者の主観的応答を測定することができます。ノブはねじで固定されていますので簡単に取り外してオリジナルのラベルへ交換することもできます。ベルクロテープが付属しますので壁や机など任意の位置に固定することができます。

このグラフは、特定の質問に対する被験者 4 人の反応 (スケール上で 0~9) を示しています。この場合、23.08 秒で記録された、質問に対する 4 人の応答は：

被験者 1 : 3.225	被験者 3 : 7.590
被験者 2 : 8.036	被験者 4 : 8.989

TSD115-MRI 可変評価トランスデューサ (MRI 用)

TSD115-MRI には 8m のケーブルが備え付けられており、MECMRI-HLT ケーブルセットを介して HLT100C に接続します。トランスデューサの導電性トレース (金属部分) を被験者に接触させないようにしてください。

MRI 利用：MR 適合 (3T)

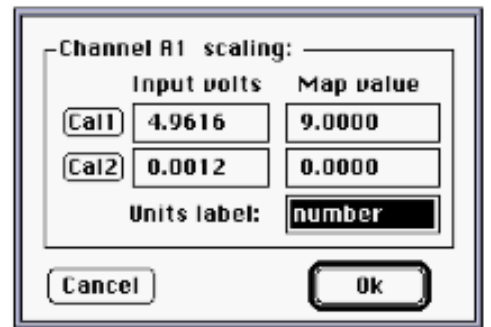
注： トランスデューサの導電部は、被験者から電気的および熱的に絶縁されます。

TSD115-MRI 構成部品：

- ポリ塩化ビニル (PVC) プラスチック
- ABS 樹脂
- ポリマー厚膜デバイス (リジッド基板、プリント半導体)
- 銅クラッドファバーガラス積層 (PCB)
- ステンレススチールスクリュー/ナット
- スズメッキ銅線
- シリコンエラストマー

TSD115 (A) のキャリブレーション

1. 最初に選択したチャンネルで[Scaling]ダイアログを開きます。
2. スライダー（ノブ）を TSD115 の右端までスライド（回転）させます。（これは TSD115 において、最大出力の+5V を出力します。）
3. この値を“9”に設定するために **Cal 1** をクリックします。（これは、TSD115 のスライダー（ノブ）がスケールの特定の位置に置かれている場合に、正確な値を出力するようにシステムに指示します。）
4. スライダー（ノブ）を TSD115 の左端までスライド（回転）させます。（これは TSD115 において、最低出力の 0V を出力します。）
5. この値を“0”に指定するために **Cal 2** をクリックします。
6. 次のチャンネルを選択し、残りのチャンネルに関してもこの手順を繰り返してください。



TSD115 の仕様

	TSD115	TSD115-MRI	TSD115A
ケーブル長：	7.6m	8m	7.6m
インターフェース：	HLT100C	MECMRI-HLT~HLT100C	HLT100C
スケール出力範囲：	0~5V DC		
スケール分解能：	無限		
スライダー可動範囲：	10cm		
寸法：	40mm（高さ）×110mm（奥行）×190mm（幅）		10cm（奥行）×5cm（幅）
重量：	230g		

参照： アプリケーションノート #AH186 心理学的評価（TSD115）